

スイカ

芝山経済センター 営農指導員 伊藤 統之



農業

テクニカルダイアリー



春ニンジン

山武経済センター 営農指導員 山本 匠

②交配
現状ではミツバチによる交配が主流です。ミツバチは過湿状態を嫌うため、雨天時や交配当日が低温の場合は動きが鈍り、良質な雌花や雄花があっても活動しないことがあります。この

①低温における交配までの管理
早いトンネル栽培では、4月上旬～中旬での交配期となり、寒暖の差が著しく、栽培管理が特に難しくなります。このため、交配前々週間前の温度管理が重要となるので、保温に努めましょう。

次年度対策

令和4年産の振り返り

今年産は4月期の低温により、トンネル栽培で着果不良が目立ち、減収となりました。5月以降は天候が安定し、品質も良好となりました。また、梅雨時期の降雨が少なく土壌水分も少ない状態となり、玉の肥大がやや悪く、小玉傾向となりました。

防除対策

農薬に頼らない対策では、次

しみ腐れ症について

しみ腐れ症の原因になる代表的な菌は、2種類挙げられます。一つはピシウム属菌が原因菌のしみ腐れ病、もう一つはフザリウム属菌が原因の乾腐病です。しかし、これら2種の病気を病徴から判別することは困難です。



写真① しみ腐れ症

令和4年産の振り返り

3月中旬以降は降雨が多くなつたため、特に露地栽培において、しみ腐れ症(写真①)の発生が多くなり、全体の反収は昨年比1割減となりました。

昨年、うどんこ病の発生が多く見られましたが、防除がある程度徹底されたことにより、少ない状況となりました。しかし、育苗期や定植直後の防除を



写真③ 菌核病(白いカビと菌核が特徴)

③病害虫防除
今年、4月期の低温と降雨による高湿度により、特にハウスカビで菌核病(写真③)や、つる枯れ病の発生が見られました。5～7月を通じて降雨が少なく、褐色腐敗病等の発生は例年に比べて少ない状況でした。害虫は、アザミウマ類やアブラムシ類の発生が多く見られました。

場合、人の手による交配が必要となります。特に低温期の交配では「人工花粉」を用いることも手段の一つです。人工花粉には、「すいかふん」があります。

処理区



の4点を行うことでコストを下げずに症状を軽減できます。
①ニンジンの連作を避け、3～4年の輪作を心掛ける
②明渠を用いた表面排水の改善および硬盤破砕による地下排水の改善
③品種・作型に合った適期に播種を行う
④収穫が遅れると被害が増加しやすいため、適期での収穫を心掛ける
農薬を使用する対策として、今回は幅広い殺菌スペクトラムを持つ、アゾキシストロビンを含む2剤を用いた体系処理を紹介いたします(写真②表①参照)。

無処理区



写真② ユニフォーム粒剤の試験結果

①ユニフォーム粒剤を播種前に全面土壌混和で処理します。ユニフォーム粒剤は非常に水に溶けやすいので、散布後に降雨が続くような場合は、注意しましょう。
②ニンジンの播種後30日程度が経過したら、アミスターオプティフロアブルを散布し、10日後に再び同剤を散布します。これらの処理を行うと、菌の発生時期に農薬の成分がニンジンに吸収されるので、しみ腐れ病の原因菌から作物を守る事ができます。今回紹介した農薬は10㍓当たりの使用量に幅がありますが、どちらも多い量

表② スイカの防除薬剤一覧

薬剤名	適用病虫害					希釈倍数	使用時期	使用回数
	菌核病	うどんこ病	つる枯れ病	アザミウマ類	アブラムシ類			
スミレックス水和剤	●		●			1000～2000倍	収穫7日前まで	5回以内
ロブラール水和剤	●		●			1000倍	収穫前日まで	4回以内
ベルコートフロアブル	●	●	●			1000倍	収穫前日まで	4回以内
アフェットフロアブル	●	●	●			2000倍	収穫前日まで	3回以内
モベントフロアブル				●	●	2000倍	収穫前日まで	3回以内
モスピラン顆粒水溶剤				●	●	2000～4000倍	収穫3日前まで	3回以内

徹底し、発生を抑制することが重要です。病害虫の発生が見ら

9月の分析経過について	
残留農薬分析点数	多成分一斉分析
	抑制トマト …… 1点
	抑制キュウリ …… 1点
	秋冬ネギ …… 1点
※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。	
土壌診断点数 …… 合計22点	

「営農情報メール」配信中!

作柄情報、病害虫対策、青果物概況、イベント案内など、営農に役立つ最新情報をお届けします。

↓登録はこちらから(登録無料)



JA山武郡市の組合員ならどなたでも登録できます。

れなくても、表②を参考に防除を行い、予防に努めましょう。
近年、後作のトマトにおいてコナジラミ類の発生が多くなり、黄化葉巻病の発症が増えてきています。収穫後の残渣や圃場周辺の雑草は早めに片付けましょう。

表① ニンジンのしみ腐れ症に登録のある農薬一覧

薬剤名	適用病害	使用量・希釈倍数	使用時期	使用方法	使用回数
ユニフォーム粒剤	しみ腐れ病	9～18kg/10a	播種前	全面土壌混和	1回以内
アミスターオプティフロアブル	黒葉枯れ病 斑点病 菌核病 しみ腐れ病 うどんこ病	1000倍 100～400L/10a	収穫 21日前まで	散布	2回以内

を散布した方が高い効果を期待できます。最近、しみ腐れ症の発生が増えていると感じている方は、ぜひお試しください。